

2024 年度 MDC 募集要項

2024. 3. 17

本郷台キリスト教会

MDC について

MDC とは、ミッション 3000 弟子訓練センター (Mission3000 Disciples' Center) の頭文字から取ったものです。ミッション 3000 は、本郷台キリスト教会に集う兄弟姉妹がキリストの愛に満ち溢れ、遣わされるそれぞれの場において神の愛を体現していく群れとなるようにと与えられた本郷台キリスト教会のビジョンです。そしてこのビジョンを持って、教会はまだ救われていない人々だけでなく、日本や世界の諸教会に仕えていきたいと願っています。

MDC は主からの召しに応え、本郷台キリスト教会を通して主が現わそうとしているみわざのために献身し、キリストの弟子として仕えたいと願う方々に対して訓練の場を提供するところです。あなたが、主によって与えられている賜物と召命に応える人生を生きるなら、あなたもあなたの周りの人々も主にあって豊かにされていくのです。

MDC の理念

「聴従愛仕」：神に聴いて従い、人に愛で仕える

【聴従】

1. みことばと祈りによって神に聴く (詩篇 50:7)
2. 神に語られた事に忠実に従う (I サムエル 15:22)

【愛仕】

1. キリストが愛されたように、神を愛し、人を愛する (マタイ 22:37-39)
2. キリストが仕えられたように、いつでもどこでも忠実に仕える (ヨハネ 13:14)

MDC の目的

1. MDC は、本郷台キリスト教会に与えられたビジョンを共有し、それぞれがその使命と賜物を見出し、深めていく場である。さらに、その使命と賜物を、生涯を通して磨いていくことのできるライフスタイルを身につけることを目的とする (マタイ 25:14-30)。
2. MDC は、途中で投げ出すことができない訓練の場である。修了時には、与えられた使命と賜物によって、教会内外を問わずどのような形でも、主の召しに応じて仕えることのできる献身者となることを目指す。

訓練の期間と内容

- 訓練期間は1年半とする。
- 訓練生は、各講師による講義を週に4コマ分 YouTube で受講する。加えて、基本日曜日学んだ内容について講師と分かち合い、深める時を持つ。(オンラインも可)
- Zoom による MDC 早天祈祷会に出席する。(火曜～金曜 6:00～6:30)
- バルナバ担当者と2週間に一度バルナバタイムを持ち、自己評価表を書き込む。
- 可能な訓練生は、教会内で責任を持って掃除する場所を決め、1週間に一度は必ず自主的に掃除を

して綺麗にする。

- 共同体生活は、MDC 生としての大切な訓練の一部である。共同生活や教会での奉仕の実践はすべて学びの場ととらえる。
- 訓練生は、期間中行われる国内または海外研修に参加する。

MDC の特徴

キリストが12人を傍におき、生活を通して訓練し、弟子として養成したことを模範とする。

1. 教会者チーム(アドバイザー牧師を含む)やバルナバ担当者との関わりの中で、霊性の深化と教会・伝道の技術を体得していく。
2. 教会ファミリーの現場を通して、教会と伝道に熟練した働き人となる。
3. 与えられた賜物を活用し仕え、さらに新しい賜物を見出していく。

MDC から育つリーダーは、

- ✧ 教会者やバルナバ担当者一人一人に与えられている賜物や姿勢から学び、自分のものとしていく。
- ✧ 失敗を恐れずにチャレンジし、主の栄光のために自分の賜物の使い方を学んでいく。
- ✧ 個人伝道で魂を勝ち取る。
- ✧ 仕える相手の賜物を見出し、用いていく。
- ✧ 魂を生み出すリーダーを育てていく。

MDC で取り組む3つの分野

MDC での学びは、「みことば」、「品性」、「技術」の3つの分野に取り組みます。これらの訓練は、あなたと御霊の間でなされ、成熟していきます。

1. みことば

第1のゴールは、クリスチャンの基本的な信条と聖書の理解を確固たるものにすることです。「真理の御霊(Spirit of TRUTH)」が、あなたをすべての真理に導き入れてくださいます。

2. 品性

第2のゴールは、満ち満ちた神との関係を築き、生活の全領域に渡って成熟と成長の喜びを味わうことです。「品性変革の御霊(Spirit of TRANSFORMATION)」が、あなたを、生活において御霊の実を結ぶ者、キリストに似た者へと造り変えてくださいます。

3. 技術

第3のゴールは、共同体の中でともに仕える技術、教会の奉仕で具体的に必要な技術を身につけながら、主の栄光のために自らの賜物をどのように用いていけばよいかを学ぶことです。「働きの御霊(Spirit of TASK)」が、キリストが教会に残された働きを完成させる力を、私た

ちに与えてくださいます。

強調点は、神に用いられるバランスの取れた器となることです。そのために必要な聖書に関する知識と共に、同労者と共に働く体験を大切にしています。MDC では、訓練生の心に考える種を蒔き、体験によって栄養を与えるのです。人は知識だけでは偏ります。学んだ知識が、体験によって裏付けされる時確固たるものとなるのです。

バルナバ担当者について

MDC において最も大切なことは、あなたの生活が変えられることです。訓練生には一人一人バルナバ担当者がつき、その生活をケアします。個人生活の助け、弱点の克服、内なる人の強化などのために、共に祈り、共に考えてくれます。

バルナバ担当者はあなたを助けますが、決して甘やかすことはありません。必要とあれば厳しいことを言うこともあるでしょう。あなたが現状に満足しきってしまうことがないように押し出すこともあります。あなたがこのコースを修了するために、バルナバ担当者との関係はとても重要です。

共同体生活について

神を愛すると言いながら兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者です。

目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはできません。(Iヨハネ4:20)

人と神との関係は、その人と他人との関係に比例します。あなたと人との関係は重要です。神に仕えたいと願う人にとってはなおさらです。何としても、うまく人と関わらなくてはなりません。自分の人生を正直にさらして、以下の3つの分野で共同体生活を意識するようにします。

※単身者は原則、共同生活をする。

1. 仲間との関係

まず、これから多くの時間をともに過ごすことになる、他の MDC 生たちとの関係がとても大切です。友人関係を築く良い時です。チームとして動くことを学びます。苦手なタイプの人たちもいるかもしれませんが、この人たちと共に働くことが出来なければ、効果的な働きをする神のしもべとなることは困難です。

2. 指導者との関係

各クラスの講師、先生方、あるいはバルナバ担当者との関係もとても大切です。指導者とどのように関わるかは、自分自身の内面が探られる機会でもあります。積極的に良い人間関係を築くように取り組みながら、指導的な立場の方々とは正しく関わることを学んでいきましょう。

3. 仕える相手との関係

教会内外での奉仕や伝道実践を通して、多くの人と関わることになるでしょう。クリスチャン、

ノンクリスチャンを問わず、いろいろな価値観を持った方々がおられます。その様な出会いの一つ一つを大切にしながら関係を築くことを学び、これを貴重な体験として生かします。

訓練生に求められること

1. 新生していること：新生したクリスチャンであり、かつ霊的に成長する意欲、主に仕えていく意欲が求められます。
2. 聖書：期間中に最低1回は聖書を通読しなければなりません。140箇所ほどの暗誦聖句があります。
3. 適正な振る舞い：MDCの雰囲気は、「励まし」と「受け入れ」です。いつでもクリスチャンとして高いレベルの行動が求められます。あなたの態度に何らかの間違ひがあれば、躊躇なくそれを正します。
4. 異性との付き合い(独身訓練生対象)：MDCの訓練期間中は、異性との交際は原則禁止です。例外として、MDCに来る以前から交際があり、牧会者チームの賛成と祝福があった場合、それによって訓練が妨げられないことを前提に交際が認められることがあります。
5. 出席：訓練生はすべての講義と実習に参加する必要があります。病気その他、やむを得ない場合は欠かさず電話連絡をすること。また時間を厳守すること。時間に対する厳密さは弟子訓練であり、責任を持つということの第一歩です。効果的な働きをするために不可欠な資質です。
6. 実践訓練：訓練生は教会の中で実質的な奉仕をします。主任牧師が、それぞれのバルナバ担当者と相談して、この領域での合否を決定します。
7. 宿題：訓練生は教師からの宿題を、すべて決められた期日までにこなすことが求められます。適正な理由なく頻りに遅れる者は、コースの修了ができません。
8. 評価：修了のためには、すべての教科にパスしなければなりません。ひとつでも落とした場合は、その教科を終えるまでは修了が認められません。ただし、いくつかの教科では、追試が認められます。
9. 生活：結婚している訓練生にとっては、配偶者の理解と協力が必要となります。訓練期間中は節約した生活になるかもしれませんが、全ての必要を満たして下さる主に期待し、主を体験するときでもあります。共に学ぶ仲間や、バルナバ担当者と良く話し、祈り合い、主を体験していきましょう。

尚、上記の「訓練生に求められること」に沿うことが難しいが、訓練を受けたいという場合は、その理由を書面に書いて提出してください。

MDCに入る資格と必要な書類、および入所までの手続き

1. MDCに入る資格

- (ア) 原則として教会員であること。
- (イ) 牧会ファミリーを経験していることが望ましい。
- (ウ) 以下の 2. の書類をすべて提出し、最終的に主任牧師に入学を許可された者。

2. 必要な書類

- (ア) MDC 受入願書・・・本人の受入願、家族（親または配偶者）による受入願
- (イ) 推薦書（所属する牧会ファミリー責任者など）
- (ウ) 救いと召命の証し
- (エ) 訓練に必要な時間を最優先に取り分けるために、一日、および1週間の生活リズムを点検し、今までの生活スケジュールの中から取り除けることが出来る時間を主に聞いて定める。上記のことを文章にして提出する。

3. 入所までの手続き

- (ア) 上記2の（ア）～（エ）の書類を、事務室に提出。
- (イ) 本人と配偶者または親を含めた牧会者との面談。

(ア) 訓練に必要な時間を最優先に取り分けるために、一日、および1週間の生活リズムを点検し、今までの生活スケジュールの中から取り除けることが出来る時間を主に聞いて定める。上記のことを文章にして提出する。

MDCに入るための諸費用

1. 教材・テキスト代 …… 実費
2. 特別積立金 …………… 5,000 円／毎月（ゲスト講師費負担分・研修準備金として）
3. 寮費(入寮生のみ) …… 家賃を入寮者で負担
4. 食費(入寮生のみ) …………… 実費
5. 備品消耗品費(入寮生のみ・入所時のみ) … 5,000 円／年間
6. 国内・海外研修費用 …………… 約 10～20 万円
7. 集中講習時の交通費 … 実費

※ 入所式後にオリエンテーションがあります。その際、別途費用が掛かります。

MDCの基本カリキュラム

平日	日曜日（講師との分かち合い）
6:00-6:30 早天祈祷会（火～金） 40分以内の講義ビデオを 4本受講	17:00-17:40
	17:50-18:30
	休憩
	19:00-19:40
	19:50-20:30

※ 講師によっては、夜の予定の代わりに日曜日午前中に分かち合いが入ることがあります。

※ 上記以外の時間は、生活のために働いたり、奉仕の実践をしたりします。

※ 外部講師が講師として立つ場合は、時間変更もあり得ます。

※ 別途2週間に1回、各自時間を合わせてバルナバタイムを取るようになさってください。

※ 掃除の時間は、上記以外の時間で自主的に持つようになさってください。

※ 予定は急に変更になることもあります。

<講師>

通常講義

池田恵賜（本郷台キリスト教会主任牧師）

佐藤賢二（本郷台キリスト教会牧師）

木島浩子（本郷台キリスト教会伝道師）

月井サムエル（本郷台キリスト教会伝道師）

池田 博（本郷台キリスト教会アドバイザー牧師）

池田登喜子（本郷台キリスト教会アドバイザー牧師）

月井 博（本郷台キリスト教会アドバイザー牧師）

木島正敏（本郷台キリスト教会アドバイザー牧師）

梶野智弘（本郷台キリスト教会リーダーシップチーム）

特別講義

外部講師を予定

MDC 入学前後のスケジュール

期日	内容	備考
4月7日(日)	申し込み締め切り	
4月30日(火)	牧会者との面談	本人、親または配偶者、牧会者と三者で面談をします。 面談のスケジュールは、個別に調整します。
	入学許可の連絡	個別に連絡します。
	入寮調整・手続き	独身訓練生のみ
5月5日(日)	MDC 入所式	礼拝にて
5月6日(月)	オリエンテーション	チャペル・会議室
5月7日(火)	通常授業開始	

※入寮生は、原則として入所式の前1週間程度を目処に入寮を完了することになります。